

はしがき

ヒートアイランド対策は、ヒートアイランド対策大綱（平成 16 年）の決定以降、重点的に解決すべき都市環境問題として国が地方公共団体、民間と連携して積極的に取り組んでいる政策課題である。

国土技術政策総合研究所は、国土交通省総合技術開発プロジェクト「都市空間の熱環境評価・対策技術の開発（平成 16～18 年度）」をはじめ、様々な研究課題について関係各機関と連携しながら、効果的なヒートアイランド対策のための都市づくりの技術の研究・開発を行ってきた。

これまでの成果を反映させた本ガイドラインは、平成 24 年 12 月に施行された都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく「都市の低炭素化の促進に関する基本的な方針」および「低炭素まちづくり計画作成マニュアル」に関連し、本省都市局から地方公共団体等に対しヒートアイランド対策に関する技術的助言として提供されることを念頭においてとりまとめたものである。

本ガイドラインが、国や地方公共団体等による都市づくりにおいて、効果的なヒートアイランド対策の立案に役立てられ、良好な都市環境形成の一助になることを期待する。

平成 25 年 3 月

国土交通省国土技術政策総合研究所

副所長 金井 昭典

概 要

都市のヒートアイランド対策として、土地被覆の改善、人工排熱の削減、市街地形態の改善がある。土地被覆の改善や人工排熱の削減による気温上昇の緩和のほか、都市空間において通風・換気を確保して熱がよどまないようにするためには、市街地形態の改善が必要である。

そのため、海や山、緑地等の地域の冷熱源からの風を都市空間内に導く連続したオープンスペース（開放的な空間）で、都市空間の地上付近の通風・換気に有効な「風の道」の確保を行うほか、その周辺の都市空間の緑化や人工排熱の削減等の対策と連携して講ずることが有効である。都市において、「風の道」として風通しがよく、風の通り道となる空間は、具体的には河川や緑地、街路、建物の隙間空間の連なりなどがある。

このような背景から、本ガイドラインは、ヒートアイランド対策に資する「風の道」を活用した都市づくりについての基本的な考え方や推進手法を示すことを目的に、地方公共団体の都市計画担当者や環境計画担当者等が各都市に流れている冷涼な風に配慮して、各都市の地域特性に合った効果的な対策を講ずるための取り組みを支援するものとして作成した。

さらに、低炭素都市づくりに資する効果的なヒートアイランド対策を検討するための簡易評価ツールを開発した。このツールは、市街地の特性に応じて様々なヒートアイランド対策による効果を概略的に見積もるためのツールである。このツールとその技術資料を資料編とした。

なお、本ガイドラインの作成にあたって、早稲田大学名誉教授 尾島俊雄先生、首都大学東京名誉教授 三上岳彦先生、神戸大学名誉教授 森山正和先生、財団法人都市緑化機構研究顧問 半田真理子先生から多大なるご指導・ご協力を頂きました。ここに記して謝意を表します。

鍵屋浩司 国土技術政策総合研究所都市研究部都市開発研究室主任研究官
（現在、独立行政法人建築研究所防火研究グループ主任研究員）
足永靖信 国土技術政策総合研究所建築研究部環境・設備基準研究室室長